



ひらた西だより 1月号

ご家族皆様でよいお年をお迎えください

今年は皆様にとってどんな一年だったでしょうか。ご家族が増え、にぎやかになられたご家庭も多いですね。保育園は、コロナ対応でご心配をかけた時期もありましたが、with コロナの過ごし方がだんだんと浸透してきたことから、十分注意しながらではありますが、れもん組までの保育公開など少しずつ保護者参加の園行事も再開することが出来ました。

年が明けますと今年度も残すところ3ヵ月、一年のまとめと進級、就学に向け期待を高めていく時期になります。4月からの新生活に向け見通しをもちながら生活リズムの見直しなど意識して取り組んでいきましょうね。

これからの3ヵ月、保護者の方と一年の成長を振り返りながら、次へのステップにつながるようにしたいと思っております。来年もどうぞよろしく申し上げます。

保育園での不適切な保育について、今非常に注目が集まっています。「ひらた西保育園は大丈夫かな」と心配に感じておられる方もあるかもしれませんね。

今報道されているようなことは明らかに「虐待」です！！保育園という子どもの健やかな育ちを支援することを目的とした福祉施設であってはならない行為です。そのようなことは当園においては決してありません。

今回の報道を受け改めて行き過ぎた不適切な保育とはどんなことが考えられるのか、なぜ報道にでる保育園ではそれを止めることが職員間で出来なかったのか等話し合いました。ベテランからも、若手からもたくさん意見がでました。そして、その気づきを共有し、必ず実践していこうということを確認し合ったところです。

個人の倫理観ではなく、保育園として責任を持った対応にさらに努めてまいります。

子どものためを思ってするしつけや教育であっても、一歩間違えば子どもの心を傷つけてしまうこともあります。我々保育園職員はそういう立場にいることを肝に銘じ、一人ひとりのお子さんを保護者の方と一緒に大切に育てていきます。



雪だるま作ったよ〜

もっとたくさん雪が積もるのが待ち遠しい子どもたちです

クリスマス寒波ということで大雪を大いに警戒しましたが、思ったほどは積もらず、大人はほととしたものの、子どもたちはとても残念そうでした。それでも園庭にうっすら積もった雪をかき集めて、子どもの背丈ほどの雪だるまが出来ましたよ！！なんとこの雪だるま、園庭の雪がみんな溶けてなくなったあとも何日も溶けずにあったので、毎日子どもたちが、「今日も雪だるまとけてない〜！」と大喜びでした。その後だんだんに形をなくしていきましたが、自分たちが頑張った雪だるまへの愛着はひとしおのようでした。



子どもは色々なものに本当に命と心があると信じています。大きなクラスの子どもたちには環境についての話や「もったいない」の意識が高まるような取り組みをしています。小さなクラスでは優しく赤ちゃん人形を抱っこしている子がいれば「赤ちゃんが抱っこうれしいなあ！ありがとうって言うてるね」とか、本を踏んでいる子がいれば「本が痛いっているよ」と、人に対してだけではなく、ものを大切に作る心の芽生えも育てています。



子どもたちが大人になる頃の世界はどんな世界なのでしょうね。現在は存在しない職業もたくさん出てくるのでしょうか。

東京大学名誉教授の汐見稔幸先生はこうっておられます。今後どのように世界が変わっていくとしても、大人のやるべきことは、子どもに人間としての品格を備えさせることです。「困っている人がいると手を差し伸べずにはいられない」といった共感能力や道徳性です。これが育っていないと他者と分かち合うような本当の幸せを感じられないのです。

お子さんの話にゆっくり耳を傾け、生活やあそびを一緒に楽しんだり考えたりすることによって育つ力です。年末年始、何かと忙しい時期ですが、元気に楽しいお休みになりますように！

1月の予定

4日(水) 希望保育(お弁当をお願いします)
 5日(木) 通常保育 12日(木) スマイルクラブ
 17日(火) お弁当の日 26日(木) 誕生会
 *このほか個人懇談などを予定してあるクラスもあります。
 よろしく申し上げます。

☆保育園携帯電話
080-7735-0131

☆コロナ感染が増えています
が、休み明け4日はそれまでの
ところで子ども同士の接触
がありませんので必ず開園し
ています。